夏真っ盛り！納涼祭を開催しました！

～暑さに負けず、笑顔満載納涼祭～











８月５日に納涼祭を開催しました。

射的、お菓子つかみ取り、輪投げ、かき氷、流しそうめん、など、とっても賑やかな一日になりました☆

かたた駅前こぼれ話

「地域に開かれた施設へ」

かたた駅前翔裕館では、地域にとっての「幸せの駅」となるように、地域の方に施設を有効活用していただきたいとの思いから、広い研修室と厨房設備の貸し出しを行っています。
研修室に関しては、ちょうど一年前くらいから、子供の学びを支援されている「公文」様に週2回（月曜・木曜）で利用していただいています。
月曜・木曜は学校が終わった後の午後から、多くの子供達が来館しています。
私が子供の頃は、先生の自宅でされていた方を多く見かけましたが、時代の流れと共に、先生自身の個人情報保護の兼ね合いもあり、今は空きテナントを借りたり、こういった広いスペースのある公共性の高い部屋を時間で借りて開催しているケースが増えているそうです。
かたた駅前翔裕館ではこども食堂も実施しています。
そういった、お子様向けの取り組みから、本来の用途である、高齢者の方向けの介護施設機能も備えており、地域で暮らされているお子様～介護が必要な高齢者の方々等、どなたに対しても必要な施設と思っていただけるようにこれからも様々な取り組みを行ってまいります。



2026
8
夏号
かたた駅前通信
かたた駅前
翔裕館
２０２６年
８月発行
サンガジャパン

今期の感動介護職員

宮腰介護職員



「感動介護」とは
利用者様やご家族に感動してもらえるような介護を提供すること。サンガジャパンではグループ全体で「感動介護」を理念に掲げ、理念実現のための行動指針に沿った介護の提供を目指しています。

感動介護エピソード

「目標を持つこと」

2025年、かたた駅前翔裕館でのGG式認知症ケアプログラムの取り組みに関して、グループホームではあるものの、正直ゴールド認定を目指せるほどのレベルにはないかな、と施設長及び管理者は考えていました。そんな中で、認知症ケアプログラム推進委員である宮腰職員が「ゴールド目指したいです。挑戦したいです！」と意志表出をしてくれました。ただ、その時点ですでに約半年が経過しており、ロープレに関しても、やっている日もあればできていない日もあり、かなり険しい道のりではありました。しかし、その意志表出を境に、宮腰職員が率先してロープレを実施。宮腰職員の熱意に、周囲の職員もいい意味で巻き込まれ、気が付けばロープレをするのが当たり前の日常になっていました。そして、迎えた1月22日の審査当日、朝から宮腰職員の呼びかけで当日の職員で審査直前までロープレを実施。結果は見事ゴールド認定を勝ち取りました。
また、今年は介護福祉士の試験挑戦も行った宮腰職員。認知症ケアプログラム推進委員として周囲を引っ張りつつも、自身の勉強も欠かさず行い、結果は見事合格。念願の介護福祉の第一歩を踏み出しました。
推進委員としてGG式ゴールド認定という目標及び自身の目標である「介護福祉士合格」という目標、両方の大きな目標を成し遂げた宮腰職員。「目標を持つこと」のクレドをしっかり実践されているその姿はとても素敵です。

お知らせ



＜研修室・応接室の地域開放をはじめました＞

堅田駅周辺でミーティングルームをお探しの方へ、
かたた駅前翔裕館の研修室と応接室を開放します。

利用料金：130円/1時間
月曜～土曜（9:00～17:00）※事前予約制
お問い合わせ先☎077-571-6555（田中まで）

インスタグラムのフォローよろしくお願いします。



インスタグラム
はこちら！

@KATATAEKIMAE.SANGA

グループホーム/居宅介護支援事業
かたた駅前翔裕館
滋賀県大津市本堅田6-31-29
TEL　077-571-6555
FAX　077-571-6553

ホームページ　　求人申込